

平成 25 年 9 月 13 日

レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

秋涼の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、去る 9 月 6 日、7 日に開催しました第 3 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会には、約 500 名という多くの皆様にご参加を頂き、衷心より感謝申し上げます。特に、特別講演をお願いした京都大学大学院特任教授の中尾一和先生、日本製薬工業協会副会長の野木森雅郁先生、及び東北大学教養教育院総長特命教授の野家啓一先生には厚く御礼申し上げます。また、本学術大会においては、特別講演の他、11 件のシンポジウム、15 件の一般口演、21 件のポスター発表が行われました。座長、演者等としてご参加頂いた方々にも深く感謝申し上げます。

現在、我が国は産業再興に向けた科学技術イノベーションの推進に取り組んでいますが、科学技術と社会との間に橋を架け調和を促すのがレギュラトリーサイエンスであり、その確立が多方面から期待されているところであります。そこで、今回の学術大会は、「新しい科学としてのレギュラトリーサイエンス」というテーマで開催させて頂きました。2 日間の大会を通じ、医薬品、医療機器の開発、審査、市販後対策等における多くの課題への研究成果や新たな取り組みが紹介され、レギュラトリーサイエンスの構築に向けて議論を深めたことは大変有意義なことであったと感じています

また、今回の学術大会の運営については、行き届かない点多々あったかと存じます。この場を借りて、お詫び申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げて、略儀ながら私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

レギュラトリーサイエンス学会
第 3 回学術大会 大会長 永井 良三